

平成 20 年 5 月 30 日

# せりがや通信第17号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

平成 20 年 4 月 6 日（日）に「第 29 回せりがや会」が開催されました。「せりがや会」は、OB の方々が中心となり毎年 4 月第 1 日曜日に開かれるせりがや病院の行事です。OB の方々に原稿を頂き、そのままの文章で掲載いたしました。

## 私とせりがや会

OB 草野 昭久

11 年前、入院患者として発言したのが私とせりがや会との出会いであった。残念ながら再入院し、昨年は患者側として再び発言者の一人であったが、今年は断酒会員として司会を務める役でその場にいたのである。

この同じせりがや会という場所にいながら、自分の置かれている立場のこの違いは大きい。断酒継続の難しさの中に自助グループの力が時の経緯とともに確実に自分を変えてきたのではないかと感じ、身の引き締まる思いで任務を遂行した。初の司会者として、その役は時間の配分や次の発表者との連絡等進行役の二人の苦勞の未達成できたのである。

私は、「せりがや会」のみならず、同じ断酒をしていく仲間たちの春の園遊例会と位置付けしており、その意義は大きいと思っている。

今年は開花が早くもつまいと思っていた桜が、この日を待っていてくれたように、真っ青な空にこれ見よがしに満開の姿を見せてくれ、時折風に舞う桜の花びらが、今年は感慨深くただただ美しく私の目には映った。

## せりがや会を終えて

OB 本間 珠恵

「憂鬱だあ」 打ち合わせ不足の進行役を引き受けてしまった不安を抱え、それでも待ち合わせ時間に合わせ準備をして会場に到着すると『第 29 回せりがや会』の大きな文字が目に入り、すでに受付は始まっていて後戻りはできない。私には独自の 3 本柱がある。“せりがや病院の皆さん” “自助グループの仲間” “屋外行事”である。全ての条件を満たしてはいるが「せりがや会って何？」私は初参加者だから良く分かっていない。しかし、そこには私の 1 番好きな屋外行事で家族の参加も合わせ 234 名が集い、いろいろな立場の方の体験談を 1 度に聞くことができる。有意義な時間が待っていた。

「なんて素敵な会なの」 午後からは進行係を行わなければならない。係の席に着席すると私の側に信頼を寄せている先輩が見学されていた。しかし、それは無意味にその場所に立っていたわけではないことに後から気付くのです。午後の部が始まってからは夢中で会場を走り回り、時間配分・発表者の順番決めを行い予定通り閉会となった。今回の経験で充実感と達成感で心弾んだとともに、未熟な私の傍らにいた先輩の配慮に感謝することができた。憂鬱から始まった 1 日も、「せりがや会」に足を運んだことで有意義に思えた。その 1 歩の大切さと素晴らしさが私の心に刻まれたのは言うまでもない。そんなことを考えながら家路へと向かった。

## 新任医師紹介

せりがや病院では、この4月から2名の新任医師を迎えました。小林医師と小西医師を紹介させていただきます。

【小西医師】はじめまして、四月からせりがや病院で勤務することになりました小西と申します。出身は神奈川県です。趣味は読書です。家で本に囲まれているのが幸せです。約1ヶ月が過ぎて、私は、依存症治療について、治療者主導なのではなく、患者様が「こうなりたい」ということを自分で考えるのを手伝うことなのかなと感じています。難しい病気ですが、これから少しでも回復の助けになるように私も勉強していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【小林医師】はじめまして、4月からせりがや病院勤務となりました、小林と申します。3月までは横浜市大付属病院に勤務しておりました。先日、「せりがや会」に出席し、OBや自助グループの方々の熱気に触れさせていただきました。依存症の治療には医療者だけでなく、様々な職種や自助グループの方の関わりが重要ですが、私もそのようなチームの一員として患者様のお役に立てればと思います。

＜アルコール家族教室のご案内＞				＜薬物依存症の家族教室のご案内＞	
Aは医師、B=担当はソーシャルワーカー・臨床心理士、C=担当は看護師です。				＜特別講座予定＞ I ダルクの活動と体験談 II ナラノンの活動と家族の対応	
開催日程と担当				開催日程とテーマ	
6月 5日 (木)	A	8月 2日 (土)	A	6月 12日 (木)	2 否認の心理
6月 7日 (土)	B	8月 7日 (木)	B	6月 26日 (木)	3 自分自身を振り返る
6月 19日 (木)	C	8月 21日 (木)	C	7月 10日 (木)	4 家族の変化・本人の変化
7月 3日 (木)	A	9月 4日 (木)	A	7月 24日 (木)	特別講座 I
7月 5日 (土)	B	9月 6日 (土)	B	8月 14日 (木)	1 薬物依存症とは
7月 17日 (木)	C	9月 18日 (木)	C	8月 28日 (木)	2 否認の心理
<p>アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。</p> <p>A・B・C それぞれの立場から上記日程で開催いたします。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)</p> <p>参加方法 予約なし・無料です。</p> <p>開催時間 土曜日＝午前10時30分～12時 木曜日＝午後1時30分～3時30分 (但し、祭日はお休み)</p> <p>場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室</p>				<p>薬物依存症家族教室では、シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。1 薬物依存症とは、<u>2 否認の心理</u>、<u>3 自分自身を振り返る</u>、<u>4 家族の変化・本人の変化</u>の4回シリーズです。どの回からでも参加できますが、4回通してご参加いただくことをお勧めしています。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)</p> <p>参加方法 予約なし・無料です。</p> <p>開催時間 第2、第4木曜日午後1時30分～3時 (但し、祭日はお休み)</p> <p>場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室</p>	

お知らせ

土曜日のアルコール家族教室は午前10時30分～12時です。(時間を確認の上お越しください)

外 来 診 療 ( 新 患 ・ 再 来 ) は 予 約 制 です。

◎予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください TEL:045(822)0365

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員